愛知県 ITS 推進協議会
平成３０年度総会

資　料

ITS愛知

日　時　　平成３０年７月３０日（月）

午後４時４５分から

場　所　　ホテル名古屋ガーデンパレス「翼の間」

総　会　次　第

開　　会

会長あいさつ

来賓あいさつ

議　　事

第１号議案　平成 29 年度事業報告について
第２号議案　平成 29 年度収支決算報告について
第３号議案　任期満了に伴う監事の選任について
第４号議案　新規会員の加入について
第５号議案　平成 30 年度活動方針及び事業計画(案)について
第６号議案　平成 30 年度収支予算(案)について
報 告 事 項　平成 29 年度あいち ITS 大学セミナー活動報告について

閉　　会

第１号議案　平成 29 年度事業報告について

１　あいち ITS ワールド 2017

●あいち ITS ワールド 2017

開催日　平成 29 年 11 月 23 日（木・祝）～ 26 日（日）
場　所　ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）第 1 展示館内
（第 20 回名古屋モーターショー会場内）
主　催　愛知県 ITS 推進協議会、中部経済新聞社
特別協力　特定非営利活動法人 ITS Japan
後　援　一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人自動車技術会
来場者　205,900 人（名古屋モーターショー来場者）





内　容

１　ステージイベント

(1)特別講演「バスとトラックの自動運転技術開発の現状」
講　師：先進モビリティ株式会社
代表取締役　青木　啓二 氏

(2)研究発表「あいち発！大学生 ITS 研究ライブ 2017」
参加者：愛知県内 6 大学 8 研究室の学生
（愛知県立大学、愛知工科大学、愛知工業大学、名古屋工業大学、名古屋大学、名城大学）
愛知県 ITS 推進協議会 ITS 大学セミナーグループ

(3)トークショー「Enjoy the Safety & Smart Mobility Life!」
出　演：哀川　翔 氏（俳優）
大村　秀章　愛知県知事（愛知県 ITS 推進協議会会長）
（司会）水野　誠志朗 氏（モータージャーナリスト）







２　展示内容

(1) 企業・行政出展ブース

(2) 大学ブース

(3) はたらくクルマの展示

(4) 工業高校製作エコカー展示

３　参加体験イベント

(1) パーソナルモビリティ・超小型モビリティ試乗会

(2) セーフティドライブ体験

(3) スタンプラリー











２　普及啓発事業

（１）講演会の開催

●平成 29 年度講演会

開催日　平成 29 年 7 月 31 日（月）
場　所　ホテル名古屋ガーデンパレス　2 階　翼の間
参加者　94 名
テーマ　自動運転による公共交通と物流の ITS の進化
講　師　東京大学 教授
　　東京大学生産技術研究所千葉実験所長
　　同研究所次世代モビリティ研究センター長　須田　義大 氏





（２）あいち ITS 大学セミナーの開催

●あいち ITS 大学セミナー

開催日程　平成 29 年 7 月から平成 30 年 6 月まで
目　　的　大学生、大学院生等の ITS に対する認知度向上、将来の ITS を担う人材育成等を目的に実施
実施大学　愛知県内の 12 大学・高等専門学校 18 講座
対　　象　一般学生から専門コース専攻の大学院生まで
参加人数　1,038 名

場所･開催日	テーマ	講　師
名古屋大学 平成 29 年 7 月 4 日(火)	Part1: Overview of ITS Part2: Driver assistance systems utilizing surround monitor cameras and the image recognition technologies	アイシン精機株式会社 電子先行開発部 制御技術開発グループ 主席技師　秋田 時彦 氏
愛知工科大学 平成 29 年 7 月 13 日(木)	ITS の今と未来 ～新たなクルマ社会の到来～	株式会社デンソー ADAS 推進部 コネクティッド企画課 浜田　隆彦 氏

場所･開催日	テーマ	講 師
名古屋工業大学 平成 29 年 7 月 14 日(金)	高精度測位社会の到来 ～自動走行の実現に向けて～	アイサンテクノロジー株式会社 取締役　細井 幹広 氏
愛知県立大学 平成 29 年 7 月 24 日(月)	「未来のモビリティ社会と ITS 技術」	トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー ＩＴＳ企画部 ＩＴＳ企画室 開発G 主任　田口 勝也 氏
中部大学 平成 29 年 7 月 26 日(水)	「ロボットフロンティア」 ～自動運転システム～	株式会社豊田中央研究所 システム･エレクトロニクス1部 自動運転システム研究室 室長 清水 司 氏
名城大学 平成 29 年 10 月 21 日(土)	自動車社会の変化と ITS の役割	早稲田大学 環境総合研究センター 参事・招聘研究員 石 太郎 氏
豊橋技術科学大学 平成 29 年 11 月 27 日(月)	ITS と次世代自動車を支える半導体技術	株式会社デンソー ASIC 技術部 部長 安部 博文 氏
豊田工業高等専門学校 平成 29 年 12 月 12 日(火)	ITS の現状と将来	中日本高速道路株式会社 技術･建設本部　技術支援部 専門主幹（ITS 担当） 手嶋　英之 氏
大同大学 平成 29 年 12 月 12 日(火) （2 講座）	ITS の技術動向 ～安全運転支援技術から自動運転へ～	三菱自動車工業株式会社 開発マネージメント本部 先行車両開発部 担当部長 伊藤 政義 氏
愛知淑徳大学 平成 29 年 12 月 20 日(水)	ITS とまちづくり ～ITS・自動運転の概要とまちづくりの関係～	公益財団法人豊田都市交通研究所 研究部　主席研究員 西堀 泰英 氏
名古屋産業大学 平成 30 年 1 月 10 日(水)	･携帯電話がつながる仕組みと歴史 ･ITS への適用事例と今後の展望	KDDI 株式会社 ソリューション事業本部 ビジネス IoT 推進本部 グローバルテレマティクス部 副部長 宮本 敦 氏
愛知工科大学 平成 30 年 1 月 15 日(月)	情報通信で進化する自動車技術	アイシン精機株式会社 電子先行開発部 先進技術開発グループ 主担当 葛谷 啓司 氏

場所･開催日	テーマ	講　師
名古屋産業大学 平成 30 年 1 月 19 日(金)	ITS とまちづくり （ITS を活用したまちづくりの事例紹介）	株式会社日建設計総合研究所 上席研究員 安藤 章 氏
名古屋工業大学 平成 30 年 5 月 21 日(月)	ITS とまちづくり～ITS・自動運転の概要とまちづくりの関係	公益財団法人豊田都市交通研究所 研究部　主席研究員 西堀 泰英 氏
名古屋大学 平成 30 年 6 月 11 日(月)	ITS 最前線～IoT と自動車社会の今後	インターネット ITS 協議会 事務局長 時津 直樹 氏
名城大学 平成 30 年 6 月 11 日(月)	ITS の現状と将来	中日本高速道路株式会社 技術・建設本部　技術支援部 専門主幹（ITS 担当） 手嶋　英之 氏
愛知工業大学 平成 30 年 6 月 25 日(月)	ITS と次世代自動車を支える半導体技術	株式会社デンソー ASIC 技術部 部長 安部 博文 氏





（３）各種展示会への出展

●「第 13 回みんなで学ぼう！トラックと交通安全・環境フェア」へのパネル出展

開催日　平成 29 年 10 月 1 日（日）
場　所　豊田スタジアム
主　催　一般社団法人愛知県トラック協会



●「あいち住まいるフェア」へのパネル出展

開催日　平成 29 年 10 月 12 日（木）
～10 月 14 日（土）
場　所　名古屋市中小企業振興会館
（吹上ホール）
主　催　愛知ゆとりある住まい推進協議会、
中日新聞社、中部経済新聞社



（４）普及啓発資料の活用

●リーフレットの配布（あいち ITS 大学セミナー等で配布）



３　連絡調整事業

（１）総会の開催

●平成 29 年度総会

開催日　　平成 29 年 7 月 31 日（月）
場　所　　ホテル名古屋ガーデンパレス
　　2 階　翼の間
議　事　　(1) 任期満了に伴う議長の選任
　　(2) 平成 28 年度事業報告
　　(3) 平成 28 年度収支決算報告
　　(4) 新規会員の加入
　　(5) 平成 29 年度活動方針及び事業計画(案)
　　(6) 平成 29 年度収支予算(案)
　　(7) 平成 28 年度あいち ITS 大学セミナー活動報告



（２）会報誌の作成

●第 75 号（平成 29 年 10 月作成）
　平成 29 年度講演会・総会・情報交換会の開催結果
　「あいち ITS ワールド 2017」ステージイベント参加者募集
　平成 28 年度支援事業の概要
　平成 29 年度支援事業の概要

●第 76 号（平成 30 年 3 月作成）
　第 76 回会員セミナーの開催結果
　「あいち ITS ワールド 2017」の開催結果

●第 77 号（平成 30 年 6 月作成）
　平成 29 年度「あいち ITS 産・学・行政交流会」の開催結果

●第 78 号（平成 30 年 6 月作成）
　「ITS あいち県民フォーラム 2018」の開催結果
　平成 30 年度総会等の日程等のお知らせ

（３）メールニュースの配信･ホームページの運営

●メールニュース
　第 471 号～第 477 号
●ホームページ
　活動状況・会員名簿の更新（随時）、コラムの掲載（5 件）

４　調査研究事業

（１）企画会議の開催

●第 56 回企画会議

開催日　平成 29 年 7 月 6 日（木）

議　事　(1)平成 29 年度総会の議案
(2)「あいち ITS ワールド 2017」の出展状況
(3)平成 29 年度「あいち ITS 大学セミナー」
(4)「ITS あいち県民フォーラム 2017」の開催結果
(5)交通事故データを活用した交通安全アプリの研究
(6)協議会ホームページのリニューアル

●第 57 回企画会議

開催日　平成 30 年 5 月 14 日（月）

議　事　(1)「あいち ITS ワールド 2017」開催結果
(2)第 76 回会員セミナーの開催結果
(3)平成 29 年度「あいち ITS 産・学・行政交流会」の開催結果
(4)平成 30 年度「あいち ITS 大学セミナー」の開催大学の募集等
(5)ITS の研究支援
(6)ホームページの運営状況
(7)あいち ITS ワールドの見直し

（２）研究会等の開催

ア　企画グループ

●第 1 回企画グループ会議

開催日　平成 30 年 4 月 24 日（火）

議　事　(1)ITS ワールドの課題、見直し検討の進め方
(2)ITS ワールドの現状
(3)見直しの 3 つの選択肢のイメージ案

●第 2 回企画グループ会議

開催日　平成 30 年 5 月 23 日（水）

議　事　ITS ワールド（モーターショー併催）の内容の見直し・充実

●意見照会
照会期間　平成 30 年 5 月 30 日（水）～6 月 4 日（月）
メールにて実施
照会事項　ITS ワールド（モーターショー併催）の見直しの方向性〔事務局案〕

●第 3 回企画グループ会議
開催日　平成 30 年 6 月 29 日（金）
議　事　(1)「あいち ITS ワールド」の見直しの方向性(案)（※）
(2)平成 30 年度活動方針及び事業計画(案)に盛り込む文案
※第 58 回企画会議（平成 30 年 7 月 11 日（水））において承認

イ　ITS 大学セミナーグループ

●第 45 回 ITS 大学セミナーグループ会議
開催日　平成 29 年 7 月 4 日（火）
議　事　(1)平成 28 年度あいち ITS 大学セミナー活動報告書の取りまとめ
(2)平成 29 年度あいち ITS 大学セミナー（後期）の講師選定

●第 46 回 ITS 大学セミナーグループ会議
開催日　平成 29 年 9 月 12 日（火）
議　事　(1)平成 29 年度あいち ITS 大学セミナー（後期）の調整状況
(2)あいち ITS ワールド 2017 での企画内容

●第 47 回 ITS 大学セミナーグループ会議
開催日　平成 30 年 3 月 2 日（金）
議　事　(1)平成 29 年度あいち ITS 大学セミナーの開催結果
(2)平成 30 年度あいち ITS 大学セミナーの開催

●第 48 回 ITS 大学セミナーグループ会議
開催日　平成 30 年 4 月 24 日（火）
議　事　(1)平成 30 年度の開催大学募集結果及び講師選定
(2)平成 29 年度あいち ITS 大学セミナー報告書の取りまとめ

●第 49 回 ITS 大学セミナーグループ会議
開催日　平成 30 年 6 月 20 日（水）
議　事　(1)平成 29 年度あいち ITS 大学セミナー報告書の取りまとめ
(2)平成 30 年度あいち ITS 大学セミナーの開催状況
※会議終了後、大学セミナー講師を交えた意見交換会を開催

ウ　ITS 広報グループ

●第 40 回 ITS 広報グループ会議
　開催日　平成 29 年 9 月 21 日（木）
　議　事　(1) あいち ITS ワールド 2017
　　(2) ホームページのリニューアル後の確認
　　(3) 平成 29 年度広報事業計画

●第 41 回 ITS 広報グループ会議
　開催日　平成 30 年 3 月 13 日（火）
　議　事　(1) 平成 30 年度広報事業
　　(2) ITS 紹介リーフレットの修正
　　(3) ホームページの運用

（３）会員セミナーの開催

●第 76 回会員セミナー

開催日　平成 29 年 12 月 22 日（金）

場　所　愛知県産業労働センター ウインクあいち 1101 会議室

参加者　65 名

内　容

【講演１】

テーマ　交通事故データとプローブデータの分析による交通安全対策

講　師　名古屋大学　未来材料システム研究所
教授 山本 俊行 氏

【講演２】

テーマ　次世代交通シミュレータと交通事故に対する
注意喚起アプリケーションの研究開発について

講　師　名古屋工業大学 大学院工学研究科
特任研究員 今枝 輝義 氏、林 政行 氏

【講演３】

テーマ　IoT 技術を利用した新たなバスロケーションシステムの開発と
災害時情報配信システムへの展開について

講　師　名城大学 理工学部 情報工学科
准教授 鈴木 秀和 氏



山本　俊行 氏



今枝　輝義 氏



林　政行 氏



鈴木　秀和 氏





●平成 30 年度情報通信月間行事

「ITS あいち県民フォーラム 2018」（第 77 回会員セミナー）

開催日　平成 30 年 5 月 31 日（木）

場　所　愛知県産業労働センター　ウインクあいち　1002 会議室

参加者　155 名

テーマ　モビリティの技術革新

内　容

【講演１】

テーマ　IT と自動車技術、自動車マーケット　－これからのトレンド

講　師　株式会社三菱総合研究所

次世代インフラ事業本部　主席研究員　杉浦　孝明 氏

【講演２】

テーマ　Mobility as a Service：移動の革新

講　師　特定非営利活動法人 ITS Japan

理事　穐場　亨 氏



杉浦　孝明 氏



穐場　亨 氏





（４）産・学・行政交流会の開催

●平成 29 年度あいち ITS 産・学・行政交流会

開催日　平成 30 年 2 月 15 日(木)

場　所　安保ホール　301 会議室

参加者　42 名

内　容

【講演１】

テーマ　ドコモの次世代モビリティに向けた取り組み

講　師　株式会社 NTT ドコモ　法人ビジネス本部　IoT ビジネス部
先進ビジネス推進担当部長　那須　和徳 氏

【講演２】

テーマ　自動車の自動運転への取り組み

講　師　国立大学法人群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター
副センター長　小木津　武樹 氏



那須　和徳 氏



小木津　武樹 氏





※終了後、情報交換会を開催

５　支援事業

（１）事業推進への支援・協力

●「IoT 技術を利用した新たなバスロケーションシステムの開発と災害時情報配信システムへの展開」に関する研究への支援

研究者	概要
名城大学 松本 幸正 教授 （特別会員）	・低コストで運用できる車載器・スマートバス停の設計及び検証実験用試作機の開発 ・日進市のコミュニティバス「くるりんばす」及び名鉄バス「日進中央線」のバスデータを整備し、Google マップにおける経路検索に反映



Google マップで検索した例

第２号議案　平成 29 年度収支決算報告について

平成 29 年度収支決算報告

収入の部　　単位：円

科　目	予算額	実収入	差　額	備　　考
1　会　費	5,600,000	5,500,000	▲100,000	一般会員
2　負担金	2,000,000	2,000,000	0	愛知県
3　雑収入	90,000	90,000	0	情報通信月間行事援助金 90,000
4　前年度繰越金	5,955,000	5,955,636	636	
計	13,645,000	13,545,636	▲99,364	

支出の部　　単位：円

科　目	予算額	実支出	残　額	備　　考
1　事業費	11,250,000	9,979,761	1,270,239	
(1) 普及啓発 事業費	650,000	510,172	139,828	講演会の開催(1回･総会時) 285,260 あいちＩＴＳ大学セミナーの開催 165,512 普及啓発資料の作成 59,400
(2) 連絡調整 事業費	1,400,000	1,197,785	202,215	総会の開催 706,385 ホームページの運営 491,400
(3) 調査研究 事業費	1,250,000	1,141,360	108,640	企画会議･研究会等の開催 8,190 会員セミナー、県民フォーラムの開催 676,792 産・学・行政交流会の開催 342,278 その他調査研究事業 114,100
(4) 支援事業費	1,400,000	1,000,000	400,000	事業推進への支援・協力 1,000,000
(5) あいちITSワールド 2017 の開催	6,500,000	6,130,444	369,556	あいちＩＴＳワールド2017の開催 6,130,444

(6) その他事業費	50,000	0	50,000	
2　一般管理費	250,000	211,130	38,870	通信運搬費用 14,489 賃金（臨時職員等雇用） 190,161 その他事務局経費 6,480
3　予備費	2,145,000	0	2,145,000	
計	13,645,000	10,190,891	3,454,109	

収支計	3,354,745	次年度繰越

平 成 ２９ 年 度 監 査 報 告

愛知県ＩＴＳ推進協議会の平成２９年度収支決算及び経理について監査を行ったところ、いずれも適正かつ正確であると認めます。

平成３０年７月１３日

監　事　　株式会社三菱ＵＦＪ銀行東海公務部長

田 中 喜 好

第３号議案　任期満了に伴う監事の選任について

【監事候補者】

株式会社三菱ＵＦＪ銀行　東海公務部長　　田　中　喜　好

第４号議案　新規会員の加入について

【一般会員】

株式会社セネック

＜参　考＞	前回総会時一般会員数	56
	新規加入一般会員数	1
	退会一般会員数	▲ 1
	承認後一般会員数	56

【特別会員】

日進市
公益財団法人日本道路交通情報センター

＜参　考＞	前回総会時特別会員数	85
	新規加入特別会員数	2
	承認後特別会員数	87

第５号議案　平成 30 年度活動方針及び事業計画(案)について

平成 30 年度活動方針(案)

本協議会は、平成 10 年 7 月の設立以来、ITS の具体化･実用化を図るため、「ITS 世界会議愛知･名古屋 2004」や「愛知万博」などに積極的に参加・協力するとともに、ITS の普及啓発、会員サービスの充実、地域づくりへの ITS の活用支援などに取り組み、着実に成果を挙げてきた。

近年、情報通信ネットワーク社会の進展、公共データのオープン化の推進、衝突被害軽減ブレーキ等の運転支援システムの普及、高度運転支援技術や自動運転技術の開発の進展など、ITS を取り巻く環境は大きく変わってきている。

一方、本県の交通事故死者数は全国ワースト 1 位が続いており、交通安全対策が喫緊の課題となっているほか、災害時の移動支援や公共交通の利便性向上、高齢者等の移動手段の確保など、ITS 活用の必要性や期待が高まっている。

こうした中で本協議会では、平成 25 年度に重点活動方針を「安全・安心な愛知づくりの実現に向けた活動の積極的な推進」と設定し、様々な取組を推進しているところである。平成 30 年度も引き続き、その方針に基づき、次の事業を中心に活動を推進する。

１　ITS の普及・促進

この地域における ITS の一層の普及・促進を図るため、安全・安心な愛知づくりにつながる分野に重点を置きつつ、講演会、ITS あいち県民フォーラム、あいち ITS 大学セミナー、会員セミナーの開催など、幅広い活動を展開していく。また、ホームページを通じて、一般県民の ITS への理解を深めるとともに、協議会の積極的な PR を行う。

２　ITS の具体化・実用化に向けた取組

国や自治体、研究機関などが実施する ITS を推進するための様々な事業への参加・協力、協議会会員による安全・安心な愛知づくりのための ITS を活用した取組への支援・協力、地域課題や利用者のニーズ等を踏まえた ITS を活用した地域づくりの実現支援等、ITS の具体化･実用化に向けた取組を行う。

３　産・学・行政の連携推進

産・学・行政の連携を一層強化するため、産・学・行政交流会を開催するとともに、ホームページ等を活用して会員間の情報交換を図る。

４　「あいち ITS ワールド 2019」に向けた取組

「第 21 回名古屋モーターショー」と連携して平成 31 年度に開催する予定の「あいち ITS ワールド 2019」について、一般の方にわかりやすく、魅力あるイベントとするため、内容の見直しを図りつつ、必要な準備を進める。

事　業　計　画　（案）

1　普及啓発事業

「安全・安心な愛知づくり」につながる分野に重点を置きつつ、ITS の意義や必要性･有用性について、広く普及啓発を行う。

事　業　名	内　　容	備　考
ITS あいち県民フォーラムの開催	ITS について広く県民への普及啓発を図るため、ITS あいち県民フォーラムを開催する。	年 1 回
あいち ITS 大学セミナーの開催	愛知県内の学生に対する ITS の普及啓発と人材育成を目的として、会員や県内の大学の協力を得て、あいち ITS 大学セミナーを開催する。	随　時
各種展示会への出展	会員の協力を得て、ITS に関連する各種展示会に出展し、パンフレット、パネル等により PR を行う。	随　時
普及啓発資料の作成	ITS の普及啓発や地域づくりへの ITS の活用を目的としたパンフレット等を作成する。	随　時

2　連絡調整事業

会員等への ITS 事業に係る各種情報提供･交換、交流の円滑化等を図る。

事　業　名	内　　容	備　考
総会の開催	平成 30 年度総会を開催する。	年 1 回
会報誌の作成	協議会の活動結果や会員・事務局からの連絡事項等を掲載する会報誌を作成する。	年 4 回
メールニュースの配信	ITS に関する情報を迅速に提供するため、会員あてのメールニュースを配信する。	随　時
ホームページの運営	ホームページを随時更新し、ITS の県民への普及啓発や協議会のＰＲを図るとともに、会員間の情報交換に活用する。	随　時

3　調査研究事業

ITS 事業推進に係る各種調査･研究等を行う。

事　業　名	内　　容	備　考
企画会議の開催	協議会活動全般やグループ活動の方向性など、重要事項を中心に協議を行う企画会議を開催する。	年 2 回 程度
研究会等の開催	(研究会) 企画グループ、ITS 広報グループ、ITS 大学セミナーグループ、ITS 安全･安心グループ及び自主研究グループの各研究会を開催する。 (行政機関等連絡会議) 地元関係行政機関等の間の密接な連携を図るため、必要に応じて連絡会議を開催する。	随　時
講演会の開催	ITS の推進に関する講演会を総会にあわせて開催する。	年 1 回
会員セミナーの開催	ITS の動向、先進的取組の紹介等を行うため、会員を対象としたセミナーを開催する。	年 3 回
産・学・行政交流会の開催	産・学・行政の連携を一層強化するため、テーマを決めて協議会会員が情報交換を行うなど交流を図る場として、産・学・行政交流会を開催する。	年 1 回
アドバイザリー会議の開催	総会に付議する事項や協議会の取組に対して意見を得るため、必要に応じてアドバイザリー会議を開催する。	随　時

4　支援事業

ITS を推進する団体や企業、自治体の取組支援と国等への協力を行う。

事　業　名	内　　容	備　考
事業推進への支援･協力	国や自治体、ITS Japan、地域 ITS 推進団体等が実施する事業やイベントなどに参加･協力するとともに、研究等への助成（※）などにより、ITS を推進する民間企業や団体、研究者等に対しても直接的･間接的に支援･協力する。	随　時
地域 ITS の実現支援	ITS を活用した地域づくりを実現するため、その担い手となる市町村に対して、ITS 導入に向けた様々な支援･協力を行う。	随　時

※平成 30 年度は、平成 29 年度に引き続き、次の研究を支援する。（上限 1,000 千円）
研究者：名城大学　松本 幸正 教授
テーマ：「IoT 技術を利用した新たなバスロケーションシステムの開発と災害時情報配信システムへの展開」

5　その他の事業

その他 ITS の推進に関連する事業を行う。

事　業　名	内　　容	備　考
「あいち ITS ワールド 2019」に向けた取組	「あいち ITS ワールド 2019」に向けて、内容の見直しを図りつつ、必要な準備を進める。	随　時
推進関連事業	本県における ITS の推進に関連する事業を実施する。	随　時

第６号議案　平成 30 年度収支予算(案)について

平成 30 年度収支予算(案)

収入の部　　単位：千円

科　　目	予算額	内　　訳
1　会　費	5,600	一般会員(56 社･団体)
2　負担金	2,000	愛知県
3　雑収入	145	情報通信月間行事援助金
4　前年度繰越金	3,354	
計	11,099	

支出の部　　単位：千円

科　　目	予算額	内　　訳	
1　事業費	5,000		
(1) 普及啓発事業費	980	県民フォーラムの開催 あいち ITS 大学セミナーの開催 普及啓発資料の作成 その他普及啓発事業	470 200 270 40
(2) 連絡調整事業費	1,250	総会の開催 ホームページの運営 その他連絡調整事業	650 550 50
(3) 調査研究事業費	1,570	企画会議･研究会･アドバイザリー会議等の開催 講演会の開催(総会時) 会員セミナーの開催 産･学･行政交流会の開催 その他調査研究事業	50 300 750 370 100
(4) 支援事業費	1,050	事業推進への支援・協力（研究等への助成） その他支援事業	1,000 50
(5) その他事業費	150	あいち ITS ワールド 2019 に係る連絡調整 その他事業費	100 50
2　一般管理費	300	事務局経費	300
3　予備費	5,799		
計	11,099		

参　考

愛知県 ITS 推進協議会規約

第 1 章　総　則

(名称)

第 1 条　本会は、愛知県 ITS 推進協議会という。

(目的)

第 2 条　本会は、高度道路交通システム(ITS：Intelligent Transport Systems)に関する企業、関係団体、学識経験者、行政機関等で組織し、このシステムが内包する公共性、社会性に着目しつつ、その具体化、実用化に寄与することを目的とする。

(事業)

第 3 条　本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

(1)　ITS の推進に向けた普及･啓発事業

(2)　ITS の推進に向けた調査研究事業

(3)　ITS の推進に向けた取組への支援･協力事業

(4)　ITS の推進に向けた関連機関･団体等との連絡調整事業

(5)　その他本会の目的を達成するために必要な事業

第 2 章　会　員

(種別)

第 4 条　本会の会員は、次の一般会員及び特別会員とする。

(1)　一般会員　本会の目的に賛同して入会した法人又は団体

(2)　特別会員　本会の目的に寄与する市町村、法人、団体又は学識経験者等で総会において承認された者

(会費及び負担金)

第 5 条　一般会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

2　特別会員で総会において必要とされた者は、別に定める負担金を納入しなければならない。

(入会)

第 6 条　一般会員になろうとする者は、入会申込書を事務局に提出し、その後の総会で承認を得なければならない。

(退会)

第 7 条　会員は、退会しようとするときは、会長に届け出なければならない。

2　会員が死亡し、又は解散したときは、退会したものとみなす。

第3章　組　織

(役員)

第8条　本会に、次の役員を置く。

(1)　会長　1名

(2)　議長　1名

(3)　監事　2名以内

2　会長は、愛知県知事をもってあてる。

3　議長及び監事は、会員の中から総会において選任する。

(職務)

第9条　会長は、本会を代表し、会務を統括する。

2　議長は、総会及びアドバイザリー会議の議長を務める。

3　監事は、本会の業務を監査する。

(任期)

第10条　議長及び監事の任期は、2年とする。

2　議長及び監事は、再任されることができる。

3　議長及び監事は、辞任した場合又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(会議)

第11条　本会に、総会、アドバイザリー会議、企画会議を置く。総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2　本会に、必要に応じて個別の課題について調査･研究等を行うために、企画会議の決定により、研究会を置くことができる。

(構成)

第12条　総会は、一般会員及び特別会員をもって構成する。

2　アドバイザリー会議及び企画会議の構成員は、会員の中から総会で選出する。

(機能)

第13条　総会は、次の事項を議決する。

(1)　事業計画の決定

(2)　収支予算の決定

(3)　事業報告の承認

(4)　役員の選任

(5)　規約の改正

(6)　その他本会の目的を達成するために必要な事項

2　アドバイザリー会議は、次の事項について意見を述べる。

(1)　総会に付議すべき事項

(2)　その他本会の目的を達成するために必要な事項

3　企画会議は、次の事項を議決する。
(1)　事業計画案の作成
(2)　収支予算案の作成
(3)　事業報告案の作成
(4)　その他本会の目的を達成するために必要な事項で、総会に付議を要しない軽易な事項

(開催)

第 14 条　通常総会は、年 1 回開催する。

2　臨時総会は、アドバイザリー会議もしくは企画会議が必要と認めたとき、又は総会員の 5 分の 1 以上の請求があったときに開催する。

(招集)

第 15 条　総会は、会長が招集する。

2　アドバイザリー会議は、議長が招集する。

3　企画会議は、構成員の互選で選出された企画会議議長が招集する。

4　研究会は、別に定める座長が招集する。

(定数)

第 16 条　会議は、総会においては会員、アドバイザリー会議においてはアドバイザリー会議委員、企画会議においては構成員の 2 分の 1 以上の出席がなければ、開会することができない。

(議決)

第 17 条　総会の議決は、出席した会員の過半数の同意をもって決し、賛否同数の時は、会長の決するところによる。

2　アドバイザリー会議、企画会議の議事は、出席した構成員の過半数の同意をもって決する。

(表決委任)

第 18 条　やむを得ない理由のため会議に出席することのできない会員又は構成員は、表決を委任することができる。この場合において、前 2 条の規定の適用については、出席したものとみなす。

第 4 章　事務局

(設置等)

第 19 条　本会の事務局は、愛知県振興部交通対策課内に置く。

2　事務局長は、愛知県振興部交通対策課長をもってあてる。

3　事務局次長は、事務局長が指名する者をもってあてる。

第5章　会　計

(会計)

第 20 条　本会の事業を遂行するために必要な経費は、会費、負担金、寄付及びその他の収入をもってあてる。

(会計年度)

第 21 条　本会の会計年度は、毎年 7 月 1 日に始まり、翌年 6 月 30 日に終わる。

第6章　雑　則

(雑則)

第 22 条　この規約に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附　則

1　この規約は、平成 10 年 7 月 23 日から施行する。

2　この協議会の設立当初の一般会員及び特別会員の加入については、第 4 条及び第 6 条の規定にかかわらず、発起人会の承認をもって決定し、総会の承認を要しない。

3　この協議会の設立当初の議長及び監事は、第 8 条第 3 項の規定にかかわらず、発起人会の承認を得た者とし、その任期は、第 10 条の規定にかかわらず、平成 12 年 6 月 30 日までとする。

4　この協議会の設立初年度の事業計画及び収支予算は、第 13 条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。

附　則(平成 12 年 7 月 26 日改正)

この規約は、平成 12 年 7 月 26 日から施行する。但し、第 19 条第 1 項については、同年 4 月 1 日に遡って適用する。

附　則(平成 13 年 7 月 30 日改正)

この規約は、平成 13 年 7 月 30 日から施行する。

附　則(平成 18 年 7 月 28 日改正)

この規約は、平成 18 年 7 月 28 日から施行する。但し、同年 4 月 1 日に遡って適用する。

附　則(平成 21 年 7 月 31 日改正)

この規約は、平成 21 年 7 月 31 日から施行する。但し、同年 4 月 1 日に遡って適用する。

附　則(平成 27 年 7 月 31 日改正)

この規約は、平成 27 年 7 月 31 日から施行する。但し、同年 4 月 1 日に遡って適用する。

愛知県 ITS 推進協議会　会員名簿
（平成 30 年 7 月 30 日現在）

Ⅰ．一般会員 56 社(50 音順)

株式会社ＩＮＢプランニング
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
アイサンテクノロジー株式会社
アイシン･エィ･ダブリュ株式会社
アイシン精機株式会社
愛知道路コンセッション株式会社
株式会社インターグループ
有限会社ＳＢＤジャパン
ＮＤＳ株式会社
株式会社ＮＴＴデータ東海
岡谷鋼機株式会社
沖電気工業株式会社
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
株式会社キクテック
クオリア株式会社
ＫＤＤＩ株式会社
株式会社建設技術研究所
シーキューブ株式会社
住友電気工業株式会社
株式会社セネック
株式会社ゼンリン
株式会社中部経済新聞社
中部電力株式会社
株式会社デイズ
株式会社デンソー
株式会社デンソーテン
株式会社電通
東海クラリオン株式会社
株式会社東海理化
東京海上日動火災保険株式会社
株式会社東京建設コンサルタント
豊田合成株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社豊田自動織機
トヨタ車体株式会社
株式会社豊田中央研究所
トヨタ紡織株式会社
株式会社トヨタマップマスター
名古屋鉄道株式会社
西日本電信電話株式会社
株式会社日建設計総合研究所
日本信号株式会社
日本電気株式会社
日本無線株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社パスコ
株式会社パソナテック
パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社
株式会社日立製作所
富士通株式会社
富士電機株式会社
三菱自動車工業株式会社
三菱電機株式会社
株式会社三菱ＵＦＪ銀行
名鉄ＥＩエンジニア株式会社
株式会社メイテツコム

Ⅱ．特別会員 87 団体・個人

【国　4 省庁支分局】
- 中部管区警察局
- 東海総合通信局
- 中部経済産業局
- 中部地方整備局
- 中部運輸局

【地方公共団体等】
- 愛知県
- 愛知県警察本部
- 名古屋市
- 豊橋市
- 岡崎市
- 一宮市
- 瀬戸市
- 春日井市
- 豊川市
- 碧南市
- 刈谷市
- 豊田市
- 安城市
- 西尾市
- 犬山市
- 常滑市
- 小牧市
- 稲沢市
- 日進市
- 清須市
- みよし市
- 長久手市
- 幸田町
- 名古屋港管理組合

【経済団体】
- 名古屋商工会議所
- 一般社団法人中部経済連合会

【公共法人等】
- 愛知環状鉄道株式会社
- 中部国際空港株式会社
- 中日本高速道路株式会社
- 愛知県道路公社
- 名古屋高速道路公社
- 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター

【公共法人等（続き）】
- 一般財団法人道路新産業開発機構
- 一般財団法人日本気象協会
- 一般財団法人日本自動車研究所
- 公益財団法人豊田都市交通研究所
- 特定非営利活動法人 ITS Japan
- 公益財団法人日本道路交通情報センター
- 特定非営利活動法人ITSプラットフォーム21
- インターネット ITS 協議会

【学識経験者】（50 音順）
- 赤松　隆（東北大学教授）
- 阿草清滋（名古屋大学名誉教授）
- 荒川俊也（愛知工科大学教授）
- 石　太郎（早稲田大学参事・招聘研究員）
- 伊豆原浩二（愛知工業大学客員教授）
- 板宮朋基（愛知工科大学教授）
- 伊藤孝行（名古屋工業大学教授）
- 岩田　彰（名古屋工業大学名誉教授）
- 宇野新太郎（愛知工科大学教授）
- 小栗宏次（愛知県立大学教授）
- 小澤愼治（愛知工科大学名誉教授）
- 河上省吾（名古屋大学名誉教授）
- 川澄未来子（名城大学准教授）
- 河中治樹（愛知県立大学准教授）
- 小塚一宏（愛知工科大学名誉教授・特任教授）
- 佐藤　淳（名古屋工業大学教授）
- 佐野　充（名古屋大学教授）
- 鈴木桂輔（香川大学教授）
- 鈴木秀和（名城大学准教授）
- 武田一哉（名古屋大学教授）
- 月尾嘉男（東京大学名誉教授）
- 辻　紘良（愛知淑徳大学名誉教授）
- 中野倫明（名城大学教授）
- 中村英樹（名古屋大学教授）
- 林　良嗣（中部大学教授）
- 福井弘道（中部大学教授）
- 福田敏男（名城大学教授）
- 藤田素弘（名古屋工業大学教授）
- 松井　寛（名古屋工業大学名誉教授）
- 松尾幸二郎（豊橋技術科学大学助教）
- 松本幸正（名城大学教授）

【学識経験者（続き）】（50 音順）

水尾衣里（名城大学教授）
宮崎保光（愛知工科大学名誉教授）
宮島千代美（大同大学准教授）
森川高行（名古屋大学教授）
森　博子（愛知淑徳大学教授）
山田啓一（名城大学教授）
山田宗男（名城大学教授）
山本幸司（名古屋工業大学名誉教授）
山本　新（名城大学研究員）
山本俊行（名古屋大学教授）
吉田　茂（愛知工科大学教授）

愛知県 ITS 推進協議会の体制

